

第2976回例会 No18

2015年11月24日

◆例会プログラム

1. 開会点鐘
2. ロータリーソング斉唱
3. 会長の時間
4. 会員卓話
5. 幹事および委員会報告
6. 出席報告
7. ニコニコボックス
8. 閉会点鐘

◆幹事報告

・ハイライトよねやま188号
(公財) ロータリー米山記念奨学会

◆第2975(11/17)例会の概要

■会長の時間 佐々木 史昭君
「石鳥谷国際友好基金10周年祝賀会」



退職された高橋寛先生が、JICAのシニアボランティアスタッフとして2年間カンボジアに派遣され、プノンペンで児童教育に携わり、帰国後、絶対的貧困の中で生きる子ども達を支援しようと“世界の貧困撲滅”を設立目的に、平成18年に立ち上げた民間国際支援団体であり、花巻市や協会の支援を当てにせず、会員約60数名による月1,000円の支援金を基に運営し、毎年20万円前後の奨学金をカンボジアに送金、岩手大学留学生の支

援、さらに10年間に2度カンボジアを訪問、現地スタッフや児童を一度日本へ招待するなど、正に草の根の国際支援事業を行ってこられました。

10周年記念祝賀会には、カンボジアの駐日女性大使チェア・キムタ氏のご自身でお祝いに駆けつけられており、石鳥谷国際友好基金がいかにカンボジア本国に高く評価されているのかという証だと感じます。

先週末パリで同時多発テロが発生し、フランスは非常事態宣言を発して準戦時状態に入り、中東からEUへの大量の移民問題が益々複雑な状況を見せているヨーロッパとは真逆に、日本とカンボジアにおいては平和と友愛がベースの国際交流、国際支援が、この花巻が中心となって行われていることは本当に誇らしいことだと思います。

私たち花巻ロータリークラブにとりましても、同じ地域貢献団体として大変参考になるものと思います。活動資金を花巻市や企業などのスポンサーに頼らず、自分たちで資金調達し、できる範囲の活動を行っていること。活動を毎年継続して10年となり、その内容が柔軟で時宜を得たものであること。そして、カンボジアは今後政情が安定し、大きな発展が期待できる状況と思いますが、10年前からカンボジアの将来を見据えた時代を先取りする慧眼をもっていたことです。

今週土曜日21日には花巻国際交流協会が主催する花巻国際フェアという、花巻市民向けに花巻の国際交流活動の現状を紹介するイベントが行われます。

メインは花巻市の中学生派遣及び受入事業の報告会ですが、それ以外にも花巻ロータリークラブも支援している石崎青空さんがスカイプで出演し、ベンベルが南部美人修行のプレゼンを行い、花巻北高の英語教師によるASMSA視察報告なども行われます。

プレゼンテーションの部の演出はロータリーにも縁の

ある柏葉公平君に総合ディレクターをお願いしています。それ以外にも地域の外国人にたくさんご協力頂いて英語で子ども達と遊ぶワールドキッズや、地域のボランティアによる民族衣装ファッションショーなど、とても楽しい企画が盛りだくさんです。

みなさまのお手元に当日のスケジュールをお届けしておりますので、ぜひお時間を見はからって交流会館までお越し頂ければと思います。

また、前回、新入会について理事会にかけられることをご報告致しました弁護士の前田毅さんは12月1日の例会からオブザーバーとして参加されますので、皆さんで歓迎したいと思います。

さて本日のプログラムは、2520地区財団委員の梶浦正氏より、ロータリー財団についての講演を頂戴致します。私も2002年に財団の主力事業であるGSEにお世話になった後、地区GSE委員として一緒に活動させて頂いた時期がありますが、今日は貴重なお話を拝聴したいと思います。宜しくお願ひ致します。

◆ゲストスピーチ【ロータリー財団月間】 ロータリー財団委員会担当 地区ロータリー財団委員 梶浦 正（まさし）様

梶浦委員の紹介、財団奨学生・GSE学友会の絆、およびロータリー財団の活動の意義について語る三田国際奉仕大委員長。



地区補助金は使いやすく、申請すれば通りやすいので是非チャレンジを！と期待を語る梶浦委員

財団のセミナーを開いていますが、理解するのは難しいと言われます。財団の補助金にはグローバルと地区がありますが、今日は地区補助金を中心にお話しします。

グローバル補助金(GG)申請

- ・重点6分野のいずれかに一致
- ・能力を向上(知識、スキル)
- ・持続可能プロジェクト(継続して生き続ける)
- ・測定可能な目標(受益項目、数量)
- ・最低予算:30,000ドル
- ・2つの国(実施国、援助国)のクラブや地区が提唱
- ・調達資金にDDFが含まれる場合は地区の承認を得ておく事
- ・代表連絡担当者がオンラインで申請

グローバル補助金(GG)は重点6分野(・平和と紛争予防/紛争解決、・疾病予防と治療、・水と衛生、・母子の健康、・基本的教育と識字率向上、・経済と地域社会の発展)のいずれかに一致しているものとされており、内容は主に発展途上国の支援となります。

また、単年度でなく、持続可能なプロジェクトで数的な測定可能な目標で自国だけでなく、相手国と2つの国で行うものとされています。

DDFとはその地区で3年前に財団へ寄付を行った半分が返って来る仕組みで多く寄付を行っていると多くの事業が出来ます。(寄付の半分はWF(ワールドフアンド)に入る。)このDDFを使うには地区の承認を得る必要があります。DDFを使う時に地区の承認を得るにはインターネットで連絡を行うので、担当はPC慣れた人が良いです。

地区補助金DG

- ・簡素、柔軟、革新的
- ・使命に沿った地元、あるいは外国での教育的・人道的プロジェクトおよび活動
- ・比較的小さな活動やプロジェクト
- ・指針に幅を持たせ、地区が決定権を持つ
- ・地区が管理する「地区補助金DG」は、ロータリー財団の使命に関連する地元や海外の活動に自由に配分することができます。
- ・年に一回の一括申請のみ(今期4月末締め切り)

地区補助金DGは教育的・人道的プロジェクトを優先に使うことにしています。

簡素で柔軟に使いやすいものですが、年に一回の一括

申請のみとなっており、翌年度事業については前年度の4月末に申請は締め切られます。来年度の活動について考える話し合いをそろそろ今のうちから始めておいの方が宜しいかと思います。

地区補助金を使ったプロジェクト

・奨学金

地元、海外、高校、大学、大学院で学ぶ為の6週間の語学研修から1年以上の大学就学まで、地区補助金＋クラブ現金

・GSE同様プログラム

男女専門職従事者からなるロータリアン以外のチームに、ロータリアンのチームリーダー。異なる国のロータリー地区へ4週間から6週間の交換旅行をする為の旅費を補助する。

・3万\$以下のマッチング・プロジェクト

・近隣地域への社会奉仕プロジェクト

15-16年度の当地区の補助金は全国の地区の中で5,6番目。下から数えてです。(苦笑) 菅原ガバナーは0クラブをなくそうと精力的に活動されていますが、その成果が反映されるのは3年後となります。

【2015-16年度地区補助金事業】

地区補助金予算の半分くらいしか使われていないので上がった申請はよっぽどのことがない限り、通ります。今年のグローバル補助金 GG 予算 75,000\$ で地区補助金 DG46,800\$ ですが、DGの半分が使われなかったらグローバル補助金に回されます。

それが累積されて20万\$ = 2,400~2,500万円くらいになっており、かなりの事業が出来る資金があります。

地区補助金を使い切って行きたいものです。

補助金の申請

15-16年度

年間スケジュール

・申請締切日

DG地区補助金	前年度4月末日
GG奨学金	前年度3~4月末日
GG人道的補助金	随時(3月以降は翌年分)

・DDF配分

DG(Starting Balance × Max50%)	
GG 奨学金優先	年間2名迄
GG VTT	年間1組迄
GG 人道的	適宜(1万\$ / 件見当)

年間スケジュールで前年度4月末日締め切りとなっていますが、地区大会の時、財団委員が集まって審議します。GG奨学金は奨学生の申請のため、3月~4月末日締め切りとなっています。GG人道補助金は随時ですが、3月以降は翌年分となります。よって4月、5月、6月の活動は2月以前に申請しておく必要があります。

プロジェクトを行いたいクラブで7000\$出すと半額が本部から出ます。1万ドル以上のものも可能です。ぜひ挑戦して下さい。



(パワーポイントを使って丁寧に説明して頂きました。)

地区補助金DG申請要項(地区条件)

- 1) 年次寄付[0]クラブは全ての財団補助金プロジェクトに参加できません。
- 2) MOU未認定クラブはDDF、WFプロジェクトには参加できません。DG(地区補助金)プロジェクト(年1回申請、審査)には参加できるが査定順位は下位となります。
- 3) プロジェクト費用の内、クラブ+その他負担は地区補助金と同額見当が望ましい。
- 4) 地区補助金の最高額目安は30万円とします。
- 5) 16-17年度認可件数は15件を目安とします。
- 6) 継続事業は除外します。人道的、教育的プロジェクトが優位です。
- 7) 申請は4月30日までにガバナーエレクト事務所に提出してください。
- 8) 認可確定は7月以降となります。認可前の事業着手は自己責任。

寄付0クラブはプロジェクトに参加出来ません。

プロジェクトの費用の内、クラブ負担は地区補助金と同額程度が望ましく、ご同意いただきたい。

16-17年は1件30万円×15件を目安にしていますが、今年は9件のみで、今まで15件集まった事はありませんので30万円以上のプロジェクトも可能です。

地区補助金は使いやすいためGGに繰り越される事がないように会長、会長エレクト宜しくお願い致します。

梶浦委員ありがとうございました。吉田エレクト、プロジェクト申請頑張ってください！





スピーチ戴いた梶浦委員に佐々木会長より感謝を込めて謝礼と記念品が渡されました。梶浦委員ありがとうございました。

◆出席報告

31人中 14人の出席
出席率 53.8%
前回修正 57.7%
メーキャップ
なし

◆ニコニコボックス

☆三田 望 君

梶浦正様、本日は忙しい中、お出で戴き、ありがとうございます。せっかくの補助金の使い方がよく理解できずにおりましたが、我 RC でも大いにチャレンジしてみたいと思いました。学友会の運営も宜しく願います。

☆佐々木 史昭 君

梶浦さん、本日は大変わかりやすいロータリー財団の講演をいただきましてありがとうございました。

当クラブも地区補助金への貢献と活用をもっと積極的に検討して参りたいと思います。

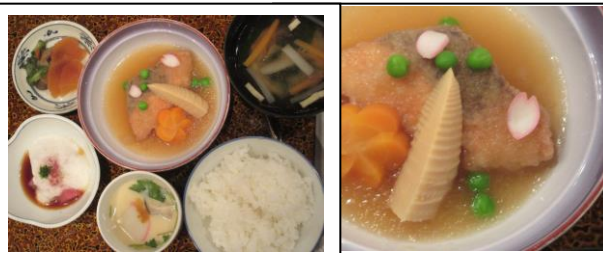
☆鹿討 康弘 君

地区ロータリー財団委員、梶浦様、スピーチありがとうございました。日曜日、次女の成人式用写真の前撮りを行いました。私は所用で立ち会えませんでした。長女のお下がりの晴れ着を文句も言わずうれしそうに着てくれた、まだ 19 歳で一児の母のヤンママに感謝です。

☆谷村 繁 君 Web 《非公開》



◆第 2975 回例会のメニュー



＜サーモンみぞれ煮＞

◆雑記



会長・会長エレクトは例会後、早速、梶浦委員に申請の相談をされていました。びっくりポンなプロジェクト期待しています♪

◆次回のプログラム

12月 1日(火) 慶祝該当者スピーチ〈例会前理事会〉

◆今後のプログラム案内

12月 8日(火) クラブ総会「次年度役員選出」

12月15日(火) 会員卓話 ■戸来昭浩君

12月22日(火) クリスマス例会 『ホテルグランシェール花巻』

12月29日(火) 年間スケジュールにより休会

2016年

1月 5日(火) 年間スケジュールにより休会

1月12日(火) クラブ協議会(前期事業報告)

〈例会前理事会〉

1月19日(火) ゲストスピーチ/会員拡大委員会担当

1月27日(火) 花巻3RC合同新年会@菊の会合同
(花巻北RC担当)

◆クラブ会報委員：鹿討康弘/多田浩二/佐藤誠吾/鳥畑昭裕/橋川秀治/小山田泰彦/飯塚正晴

◆事務局 〒025-0075 花巻市花城町 10-27 花巻商工会議所内 花巻ロータリークラブ TEL /FAX : 0198-41-1133
Mail : hrc@hanamaki-cci.or.jp <http://www.hanamaki-rc.com> 記事担当/橋川